

令和8年度 第2回 筑後川水系渇水調整連絡会

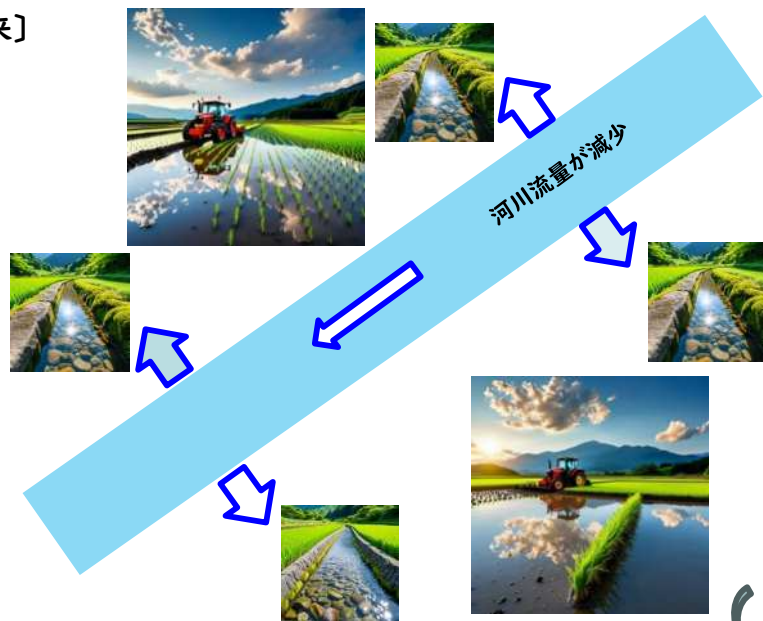
参考資料

令和8年6月5日
筑後川水系渇水調整連絡会
事務局

水利用の効率化のイメージ

- かんがい期の取水量のピークを分散することにより、河川流量の減少を可能な限り抑制できるように調整。

〔従来〕



〔効率化イメージ〕



水利用の効率化

(代掻き用水取水時期の平準化や水路への一時貯留等)

取水時期の平準化



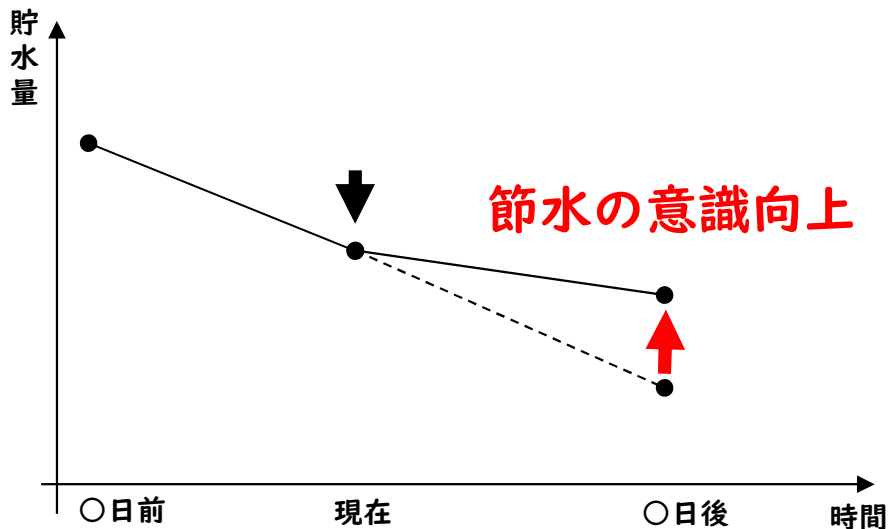
水路への一時貯留



取水時期の平準化

節水の意識向上と渇水対応イメージ

- 市民生活や社会経済活動に支障をきたす『給水制限（時間断水）』をできる限り回避するには、早めの対応が肝心。
- 行政機関・水道事業者等はもとより、地域の一人一人の節水等の取り組みが、これからの事態の延命・緩和に効果を生む。
- 筑後川流域・関係地域で生活・活動されている方々で、一緒に限りある水資源をコントロールし、危機的な渇水を未然に回避する。



例えば...

※3リットル = 一般的な水道蛇口で15秒間程度。
 ※水利用者約350万人(想定)

一人一人が15秒間だけ水道利用を控えると、
 $350万人 \times 3リットル = 1050万リットル \approx 10.5千m^3$
 の節水になる。
 これが1ヶ月間続くと、約30万 m^3 となり、主要利水6施設の1日の低下量と同等となる。

平常時

・気象の長期予報の内容
 ・ダム貯水率等の現状

渇水段階	あらかじめの対応(平常時)	
給水制限	—	
町国・村・都道府県・市	調整・対応等	<ul style="list-style-type: none"> ◆水資源開発施設の整備が必要な地域での水資源開発の取組 ◆雨水・再生水の利用促進 ◆水融通・応援給水体制の検討 ◆地下水保全・利用ルール of 検討 ◆応援給水等の供給先の優先順位の設定の検討
ダム・水等の事業者等	<ul style="list-style-type: none"> （水供給を提議する方側策） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設の改良による利水機能の増強(ダムの嵩上げ等の再開発、貯水池掘削・浚渫による容量維持等) ◆複数ダムの統合運用など異常渇水時のダムの運用ルール設定 ◆緊急給水施設等の整備 ◆水融通・水輸送の事前準備 ◆節水、雨水・再生水の利用
産業・住民等	<ul style="list-style-type: none"> （水を要使用する方側策） 	

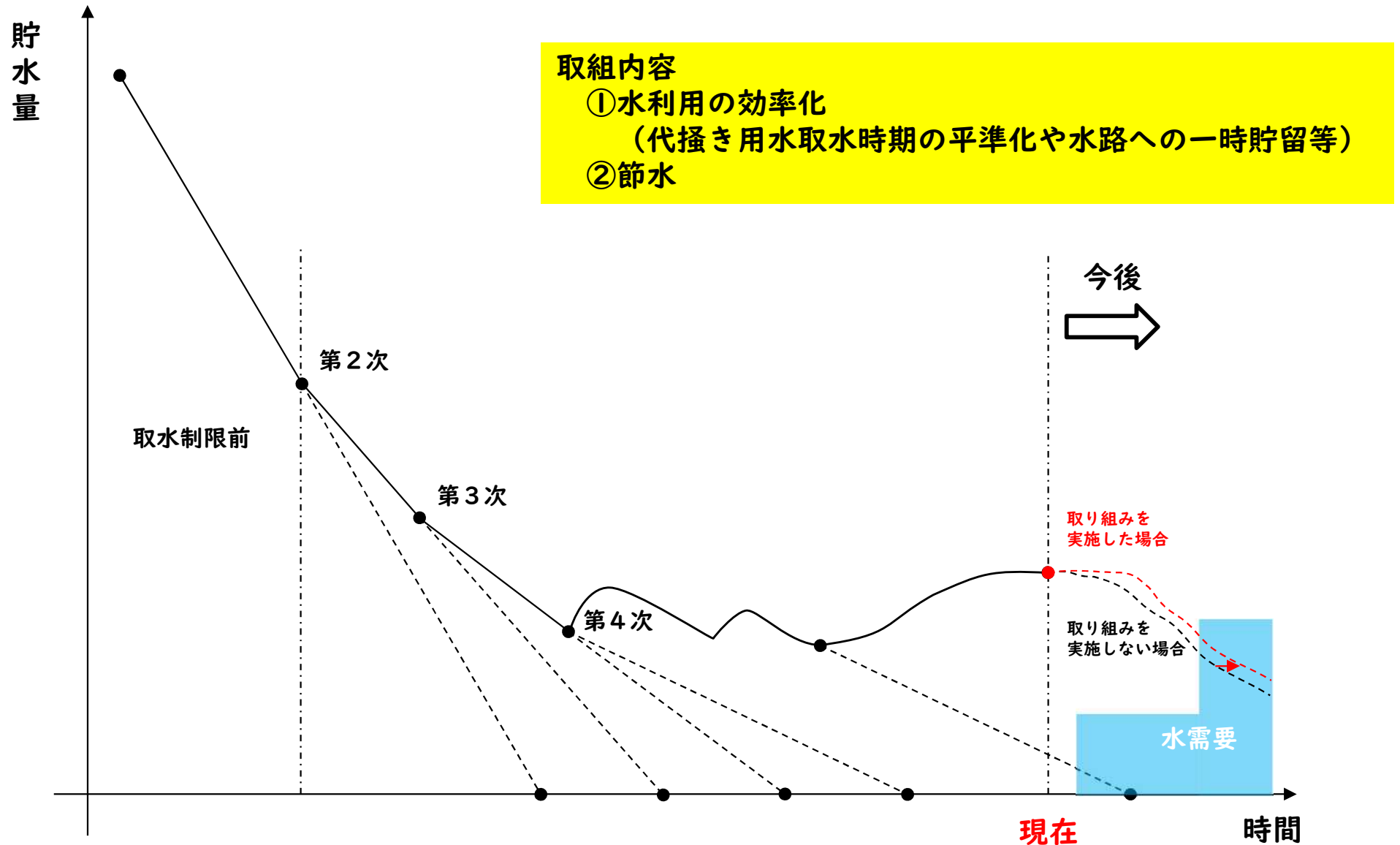
渇水対応

渇水対応の準備時	渇水時	深刻な渇水時	危機的な渇水時
	減圧給水	時間断水	長期断水
<ul style="list-style-type: none"> ◆渇水対策本部等の体制の整備 ◆節水・渇水に関する広報 ◆広報・メディアとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ◆公共施設の節水(プール、公園の散水、噴水の中止等) ◆情報の提供・共有 	<ul style="list-style-type: none"> ◆用途間転用(許水量の範囲内で転用) ◆水融通・水輸送や優先給水の調整 ◆自衛隊出動要請 	<ul style="list-style-type: none"> ◆緊急病院等への緊急水の指定 ◆転院の支援 ◆衛生施設(トイレ)の確保
<ul style="list-style-type: none"> ◆海水淡水化施設、給水タンク、輸送のためのトラック、水備蓄(ペットボトル等)等の事前準備 ◆渇水対策本部等の体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ◆節水の呼び掛け ◆給水制限(減圧) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆水融通の調整 ◆給水制限(時間断水) ◆複数ダムの統合運用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆広域的な水融通 ◆病院、福祉施設への優先給水 ◆緊急給水(ペットボトル等)
<ul style="list-style-type: none"> ◆一般家庭の節水(風呂、洗濯、洗車等の節水) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆農業用水の番水、反復利用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生活様式の変更 ◆工場の操業短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ◆最低限の水利用

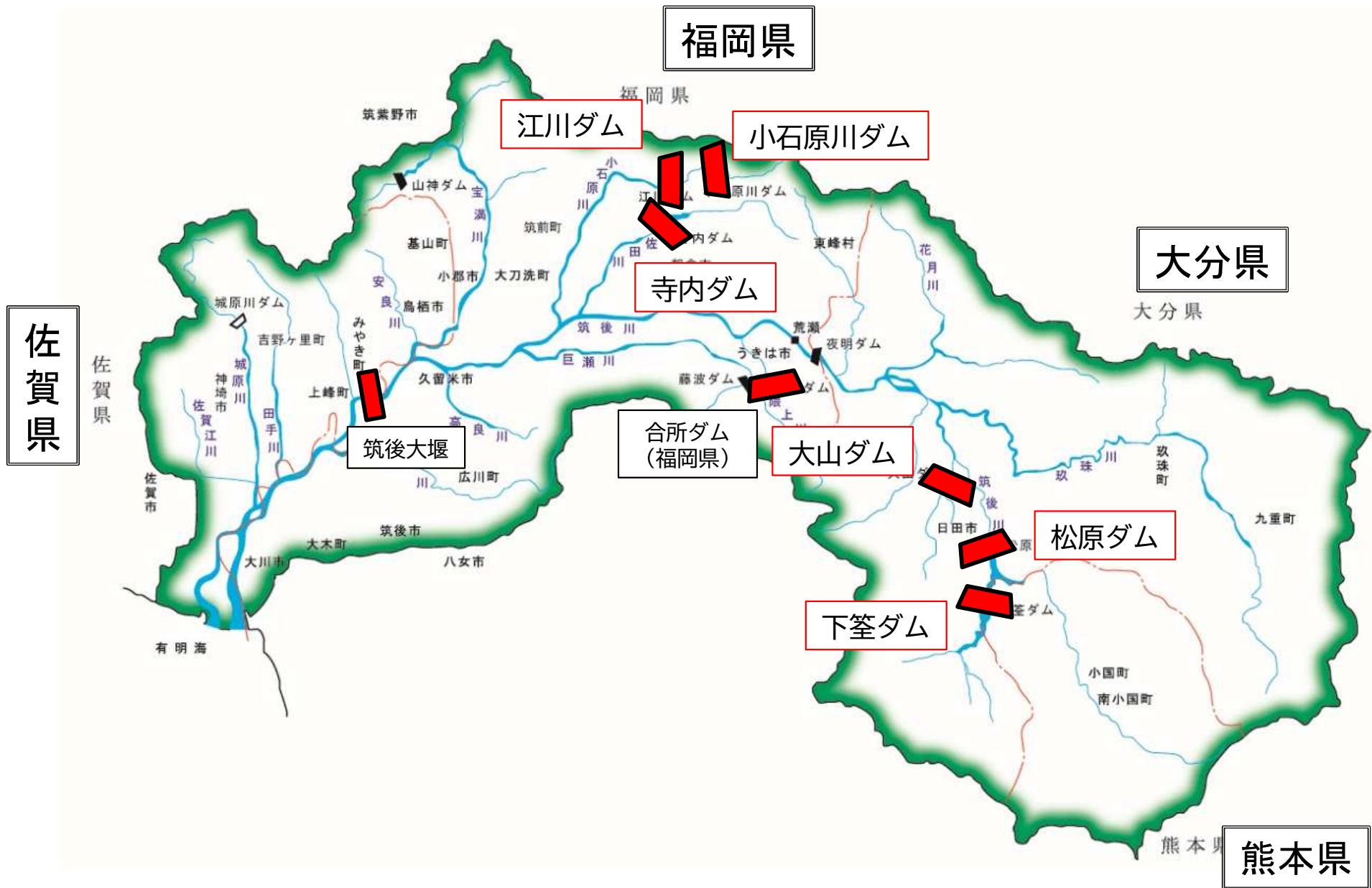
注)本イメージ図はシナリオの一例であり、想定される影響・被害、渇水対策は、各流域の特性等により異なる。

節水による取水量低減の効果

○ 水利用の効率化及び一層の節水により、かんがい期の水需要の増加に備える。



貯水池の状況写真施設位置図



各ダムの貯水池の状況

寺内ダム貯水池状況

寺内ダム現状(R8.6.4:EL113.26m)



平常時最高貯水位付近の状況(R7.6.16:EL119.64m)



江川ダム貯水池状況

江川ダム現状(R8.6.4:EL204.88m)



平常時最高貯水位付近の状況(R7.6.18:EL224.73m)



各ダムの貯水池の状況

小石原川ダム貯水池状況

小石原川ダム現状(R8.6.4:EL314.30m)



平常時最高貯水位付近の状況(R7.6.6:EL348.39m)



大山ダム貯水池状況

大山ダム現状(R8.6.4:EL230.62m)



平常時最高貯水位付近の状況(R7.7.30:EL244.61m)



各ダムの貯水池の状況

松原ダム貯水池状況

松原ダム現状(R8.6.4:EL249.09m)



例年のダム湖状況(R7.6.4:EL247.98m)



下笠ダム貯水池状況

下笠ダム現状(R8.6.4:EL296.38m)



例年のダム湖状況(R7.6.4:EL294.77m)

